

読者から寄せられた意見・感想あれこれ

前回11月1日号の発行後、読者の方から37件のご意見・ご感想等をお寄せいただき、たいへんありがとうございます。その一部を紹介いたします。

『インターネット配信』のこと

- “開かれた議会・インターネットの配信” 実際の映像を見ることによって、議場の雰囲気が増えてより一層と興味が増すことでしょう。 山田 57才 女性
- 本議会の様子をインターネットで見られるとのこと。母は見に行ったことがあるようですが、家にいながら見られれば、気軽に見て、知ることができるので楽しみにしています。 留原 24才 女性

『るのバス』のこと

- るのバスをもう少し数を出してほしいというご意見を読みましたが、私の所は何の交通手段ありません。本数は少なくとも通るだけうらやましいです。車に乗れない主婦です。 深沢 66才 女性
- あきる野ウォッチング！毎回楽しみにしています。これからも市内の紹介をよろしく。るのバス、他市のようにせめて1時間に1本出してくれるとありがたいです。有料でもよいから、るのバスであきる野ウォッチングに紹介された、“あんなところ・こんなところ”へ連れて行って欲しかったらいいな。 山田 58才 男性

『新市長』のこと

- あきる野市の新市長に臼井氏が選出されました。市の財政は火の車と言う噂もあり、夕張の二の舞と言う人さえ居ますが、いつまでも健全なあきる野市である為に努めて欲しいと思います。 留原 58才 男性
- あきる野丸の新しい船長さん、頑張ってください。 野辺 84才 女性

『議会だより』のこと

- ニュースで、生活がおびやかされる値上げを告げています。議会だよりの表紙にあるように自分の体は自分で、ジョギングを始めなければと、我が身に言い聞かせた所です。 伊奈 67才 男性
- 議会だよりを読んでいると、市議会に出たことについて、よくわかるので勉強になります。あと、あきる野ウォッチング毎号楽しみにしています。 引田 13才 女性
- あきる野ウォッチングを拝読し、何時も市内に貴重な旧跡が沢山あることに驚いております。このような文化的価値の高い逸品の財産を後世に残すよう努めたいものである。 引田 70才 男性
- あきる野市民となり7年が経ち、このような素晴らしい街に住めて良かったとつくづく思っています。毎号、この議会だよりを楽しみにしています。 舘谷 36才 男性

◎お寄せいただきましたご意見・ご感想は、今後の議会活動や議会だよりの編集など、各方面に活かしていきたいと考えております。

お知らせ

本会議の様様をインターネット（録画）で配信開始！

平成19年12月7日より、議場での本会議の様様を市のホームページからご覧いただけるようになりました。

これは、あきる野市議会として、市民の方に「より身近な議会」、「開かれた議会」を目指し、12月定例会から、市の条例や予算等の議案審議、一般質問などの様様をご覧いただく機会をつくり、市政に関するより一層の理解と関心をお寄せいただくことを目的に、インターネット（録画）配信を開始しました。

また、配信開始から本年1月6日までの1ヶ月間で1,090件のご利用がありました。

今後ご利用をお待ちしております。

インターネットで会議録と議会だよりもご覧になれます。

あきる野市役所のホームページに市議会の会議録検索コーナーがあり、平成7年9月以降の本会議、常任委員会、予算特別委員会及び決算特別委員会の会議録が掲載されています。また、平成18年5月1日以降の議会だよりも、検索できますので、是非ご覧ください。

あきる野市役所のホームページ

【<http://www.city.akiruno.tokyo.jp/>】から「議会中継」、「議会会議録」または「あきる野市議会」を検索し、ご覧ください。

請願・陳情はお早めに

3月定例会では2月19日（火）までに提出された請願・陳情を審査します。なお、請願・陳情の内容などをお尋ねする場合がありますので、提出される方は、早めに議会事務局までご持参ください。

問い合わせ

議会事務局へ ☎（558）1111

3月定例会予定

2月27日（水）	初日	議案審議
3月4日（火）	総務委員会	
5日（水）	環境建設委員会	
6日（木）	福祉文教委員会	
11日（火）	2日目	一般質問
12日（水）	3日目	一般質問
13日（木）	4日目	一般質問
17日（月）	予算特別委員会	
18日（火）	予算特別委員会	
26日（水）	最終日	委員長報告・追加議案審議

開会時間は午前9時30分
変更となる場合もあります。

あきる野 ウオッチング! あんなとこ、こんなとこ

参考文獻
秋川市史
秋川市地名考

油平（あぶらだい）

油平は、新編武蔵風土記稿によると、小田原北条氏の家臣であった中村但馬守が、天正十八年（1590年）に村を開いたといった記述があります。秋留っ原とよばれた秋留台地の端にあり、江戸時代より畑のみで田はなく、18世紀の末頃は「アブラタイラ」とよんだようです。また、油は、古くから照明用として使用し、古くは胡麻、荳胡麻、木の実（椿やかや）などを原料としていたそうです。油をとる作物を栽培した所が、油田とよばれ、そうした作物をつくる山間の平（ダイ）地の畑だったことから油平となったとの記述が秋川市史にあります。

Aburadai



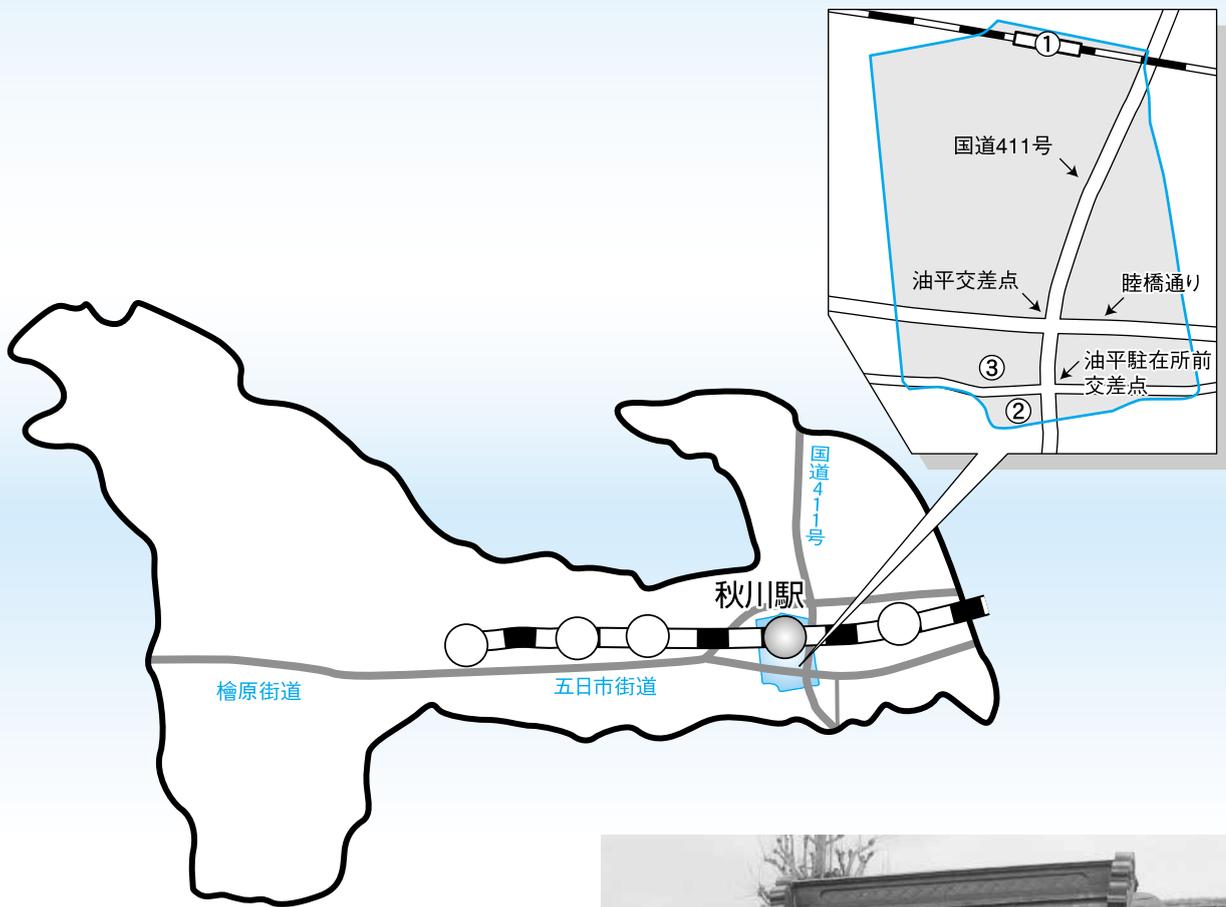
秋川駅（南口）

秋川駅は、大正14年に五日市鉄道（拝島～武蔵五日市間）の開通と同時に、西秋留駅として開業しました。昭和62年には橋上駅舎及び南北自由通路の完成により、当時の市名に合わせて、秋川駅と改称されています。また、掲載しました「駅舎と改札口」の一枚の写真からは、大正から昭和にかけての時代の流れを垣間見ることができます。



西秋留駅

あきがわえき
秋川駅
（油平49番地）



ふくとくじ
福德寺 (油平246番地)

福德寺は、臨済宗建長寺派の寺で、本尊は十一面観世音菩薩です。もとは福泉寺とって、油平20～24番地付近にあり、開山は普門寺七世の徹堂薫禪師と伝えられています。また、『建長寺 末寺編』によれば永正2年(1505年)に油平の現在地に移り、明治43年(1910年)には、牛沼にあった徳重院を当寺へ合併して、両寺の頭字をとって、福德寺と改称し、今日に至っています。また、境内には、約150種の牡丹や海棠などが、春には見事な花を咲かせます。



福德寺・山門



八幡社

創立年代は未詳ですが、御祭神は菅田別天皇と伝えられています。また、現在の本殿は、昭和42年(1967年)油平在住の宮大工・瀬沼伊三郎氏が手がけたものです。八幡社は、現在も油平の鎮守として地域を守り続けています。

はちまんしゃ
八幡社 (油平255番地)

クイズ

答えの中から正しいものを選び、ハガキに書いてお送りください。

問1 次回開催の平成20年第1回(3月)定例会での一般質問は、3月何日から始まる予定でしょうか。

- 3月5日
- 3月7日
- 3月11日

問2 今回の議会だより「あきる野ウオッチング」で取り上げました現在の駅名は、何でしょうか。

- 東秋留駅
- 秋川駅
- 武蔵引田駅

〔応募方法〕

ハガキに答え、住所、氏名、年齢と議会だよりに対するご意見・ご感想などを書き添えてください。正解者の中から抽選で10名の方に記念品をプレゼントします。

あて先 〒197-0814 あきる野市二宮350番地
あきる野市議会事務局
締切り 2月15日(当日消印有効)

前号の正解は、問1「19年第4回(12月)定例会」、問2「御前石」でした。

応募総数は37名で、正解者の中から抽選で10名の方に記念品をお贈りしました。

なお、当選者の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。ご応募ありがとうございます。

編集委員 青木 豊

皆様の大切な一票を託した議員の議場の姿を是非共
ご覧になってください。
一方、その手段を持たない市民の皆様にはこの議会
だよりが頼りです。臨場感
が漂う紙面をと考えてます。

冬の風物詩～凧(たこ)～



青く澄み切った空高く、凧が悠々と揚がる姿は、新年を迎えた心をさらに清々しくさせてくれたものです。また、子どもたちが、凧の糸を持って、風をつかまえようとはしゃいで走る姿に、そばにいる者も楽しい気持ちになったものでした。

「たこ」と呼ぶのは関東方面だけで、関西方面では「いか」と呼ばれているようです。いずれも凧が紙の尾を垂らして、空に揚がる姿が「蛸」や「烏賊」に似ていることから、江戸時代頃に名付けられたと考えられています。

日本の凧は、中国から平安時代頃に伝わってきたと言われていました。揚がった高さによって吉凶を判断したり、豊作を願う祭りの大事な道具として用いられていました。そして、世の中が戦国時代になると、凧は遠くからでも見えることから、戦の道具としても利用されました。庶民の遊び道具となったのは、江戸時代に入ってからで、この頃には和紙も普及して多種多様な凧が現れ、大人から子供までの遊びとして流行したようです。

お正月からこの時期にかけて、河川敷や公園で凧揚げをする光景を見かけると、どこか懐かしさが心をかすめます。

編集後記

今回の定例議会からインターネットによる録画配信が始まりました。

市長が変わり会派の再編により議席も大幅に変わリ
何時になく緊迫感が漂う議
会であった気がしています。

そのような思いで録画配
信をみると議場全体の緊迫
感や伝わり難い感がありま
すが、一般質問などは生の
やり取りが臨場感をもって
伝わってきます。

皆様の大切な一票を託し
た議員の議場の姿を是非共
覧になってください。

一方、その手段を持たない
市民の皆様にはこの議会
だよりが頼りです。臨場感
が漂う紙面をと考えてます。